

# 製品安全に関する消費者への注意喚起

平成24年5月8日

安心を未来につなぐナイトです。

**nite**

National Institute of Technology and Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

# 製品安全センターの業務概要

## 製品事故の情報収集、調査・分析、公表(情報提供)

暮らしの中で起こった製品事故情報を収集して原因を究明し、結果を公表して、技術基準の改正や注意喚起により事故の未然・再発防止に貢献。

消費者が使用する家庭用電気製品や燃焼器具など消費生活用製品の安全性を把握するためのテストを実施。

## 規格・基準の整備

消費生活用製品にかかわる事故の未然・再発防止のために、規格・基準の整備及び階層化による規格体系への導入可能性について検討。

## 立入検査

経済産業大臣の指示に基づき、製造事業者等に対して、法律の遵守状況について立入検査を実施。

## 国際連携

国際関係機関との連携を図り、製品安全情報の共有と製品事故防止を積極的に実施。

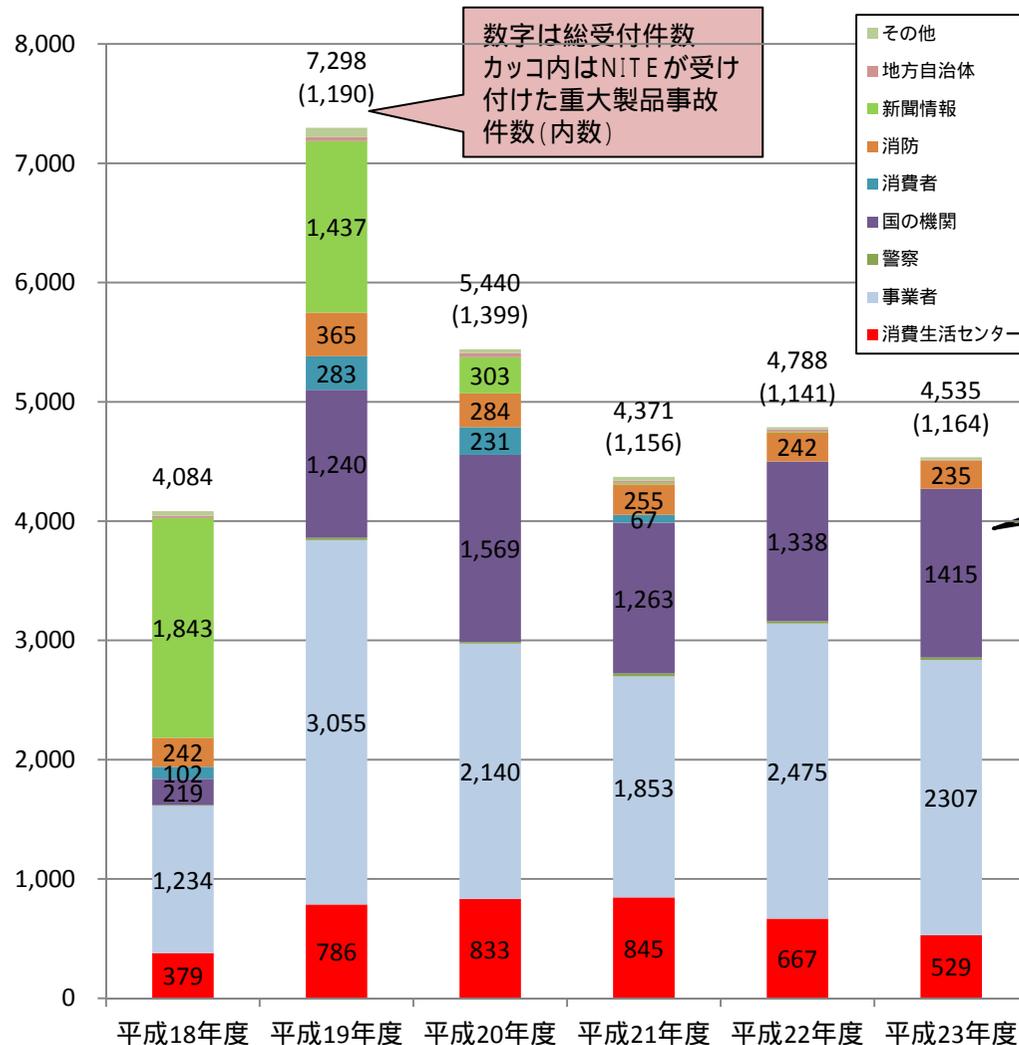
# 製品安全業務の実施体制



# 事故情報収集状況

平成24年4月1日現在

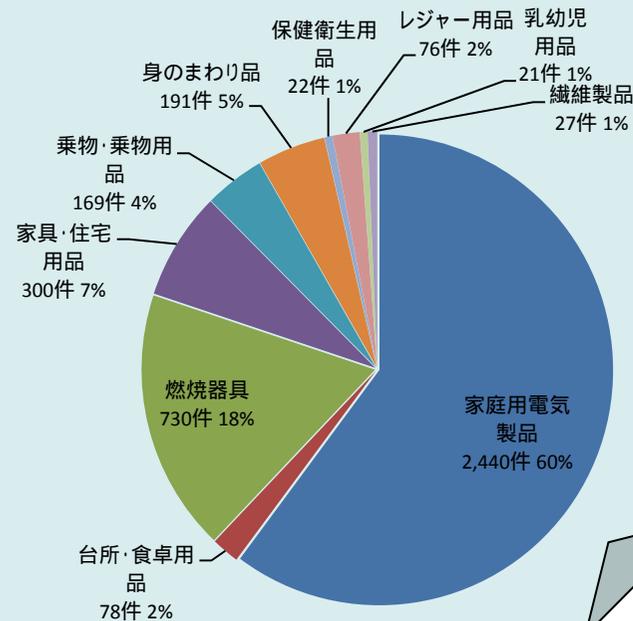
## 情報源別事故情報収集件数の推移



## 参考:地域別通知件数(全情報源、重複抜き)

所別	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	総計
本部	467	1,052	828	693	818	724	4,582
北海道	149	287	187	185	238	156	1,202
東北	525	664	399	277	219	217	2,301
北関東	211	326	192	160	173	140	1,202
東京	920	1,875	1,589	1,277	1,453	1,486	8,600
中部	388	688	489	380	416	452	2,813
北陸	209	270	146	121	133	83	962
中国	234	372	245	190	212	155	1,408
四国	159	280	121	92	88	99	839
九州	384	669	406	308	306	340	2,413
不明	29	103	258	277	283	202	1,152
総計	3,675	6,586	4,860	3,960	4,339	4,054	27,474

## 参考:平成23年度製品区分別収集件数



## 消費者への情報提供、注意喚起

NITEでは、以下のツールを活用し、消費者が安全に製品を使用するための情報を提供しています。

- NITEホームページでの消費者への情報提供、注意喚起
- 注意喚起リーフレット、ちらし
- 身・守りハンドブック
- メールマガジンの配信
- 記者説明会での注意喚起
- セミナー、講演での製品安全啓発
- 製品安全教育・・・小学校高学年用DVDの配布

# NITEホームページでの消費者への情報提供、注意喚起

NITEのホームページでは、一般消費者が使用する製品に関する、「注意喚起リーフレット」、「注意喚起ちらし」、「身・守りハンドブック」、「メールマガジン」、「社告・リコール」などの情報を提供

製品安全トップページ

: 消費者向けの情報  
 : 消費者、事業者双方が利用できる情報  
 : 主として、事業者、製品安全担当者向けの技術情報(消費者の方にも役立つもの)

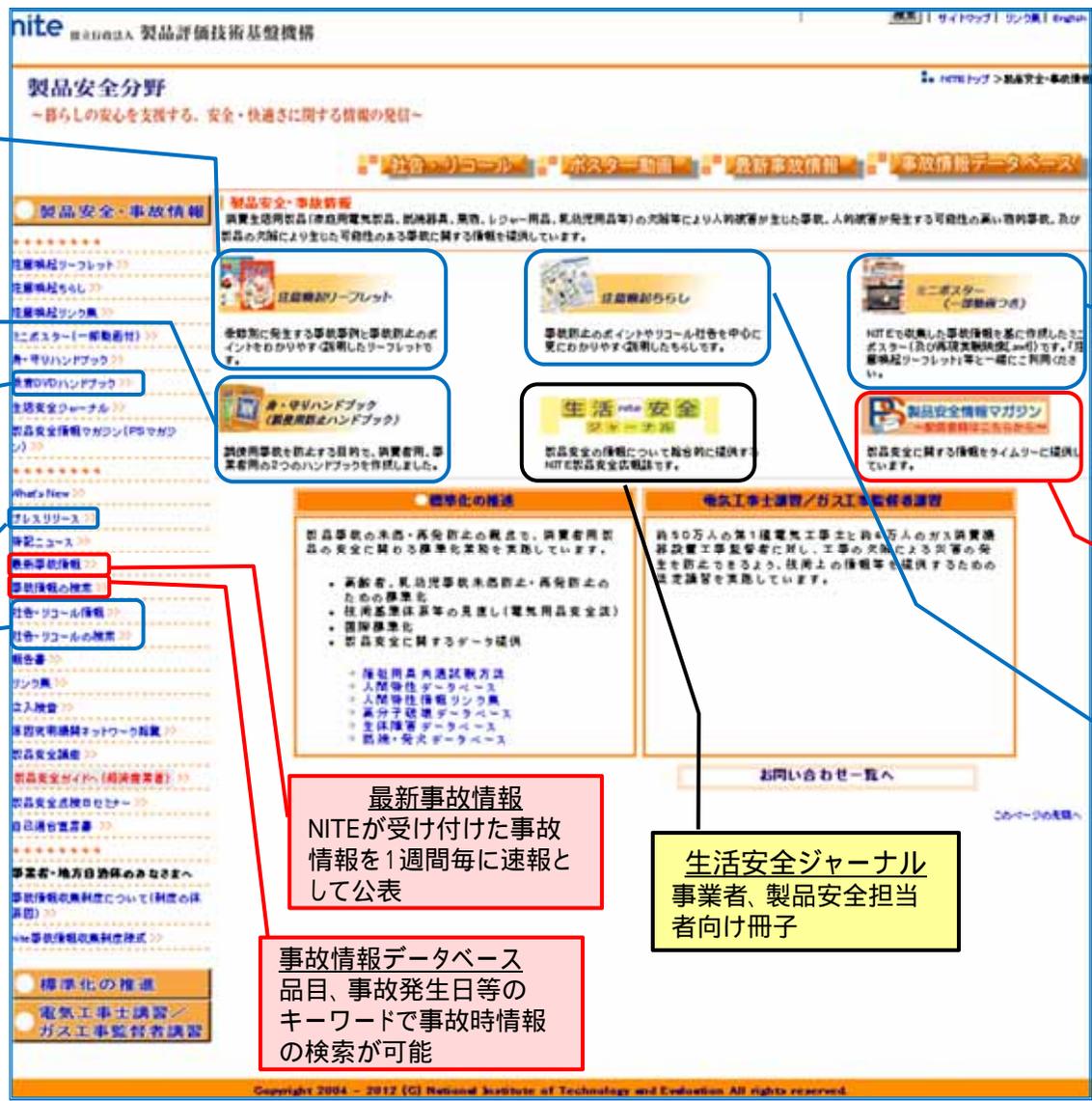
**注意喚起リーフレット**  
季節別に発生する事故事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明したリーフレット。

**見守りハンドブック**  
誤使用、不注意による事故の防止のため、事故事例と注意事項をとりまとめてハンドブックとしたもの。

**教育用DVDハンドブック**  
小学校高学年向けの製品安全教育の教材(DVD映像と解説書)

**プレスリリース**  
記者説明会資料等を掲載

**社告、リコール**  
最新の社告・リコール情報と社告・リコール検索



**注意喚起リーフレット**  
季節別に発生する事故事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明したリーフレットで、消費者向けの情報。

**注意喚起ちらし**  
事故防止のポイントやリコール社告を中心に更によりわかりやすく説明したちらしです。消費者、事業者双方が利用できる情報。

**ミニポスター**  
NITEで収集した事故情報を基に作成したミニポスター(及び再現映像映像)です。「注意喚起リーフレット」と一緒にご利用いただけます。消費者、事業者双方が利用できる情報。

**製品安全情報マガジン**  
製品安全に関する情報をタイムリーに提供しています。主として、事業者、製品安全担当者向けの技術情報(消費者の方にも役立つもの)。

**生活安全**  
製品安全の確保について総合的に提供します。消費者、事業者双方が利用できる情報。

**最新事故情報**  
NITEが受け付けた事故情報を1週間毎に速報として公表

**事故情報データベース**  
品目、事故発生日等のキーワードで事故時情報の検索が可能

**生活安全ジャーナル**  
事業者、製品安全担当者向け冊子

**ミニポスター**  
事故防止のための注意喚起ポスターと再現映像

**製品安全情報マガジン**  
製品安全に関するメルマガ。第2、第4火曜日に配信。

**注意喚起ちらし**  
事故防止のポイントやリコール社告を中心にわかりやすく説明

# 注意喚起リーフレット、注意喚起ちらし

## ◆リーフレットによる注意喚起(リコール情報、季節の事故)

事故が多発する製品のリコール情報をまとめたリーフレットや、季節別に発生する事故事例と事故防止のポイントをわかりやすくまとめ、リーフレットにして提供

リコール情報:電子レンジ



季節の事故:夏



## ◆注意喚起ちらしによる注意喚起

NITEが収集した事故情報から、実際に起こった事故事例と注意喚起をわかりやすく「こんな事故にもご用心」として「ちらし」で配布



# 身・守りハンドブック

## ◆消費者への注意喚起をとりまとめてハンドブックとして配布

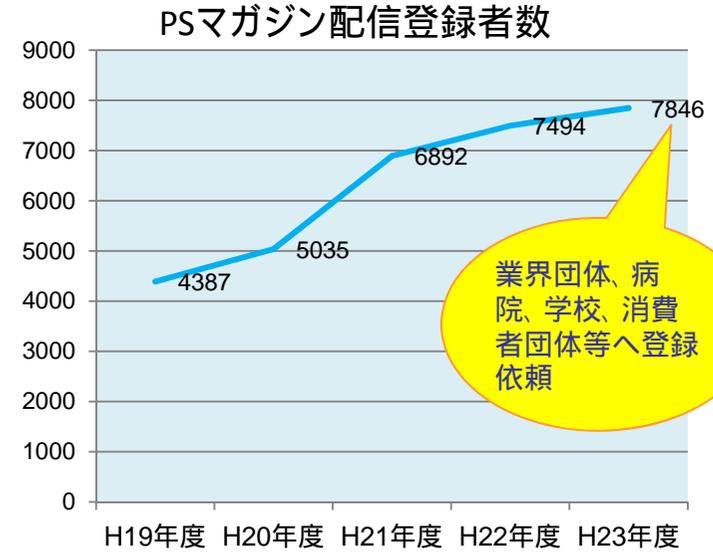
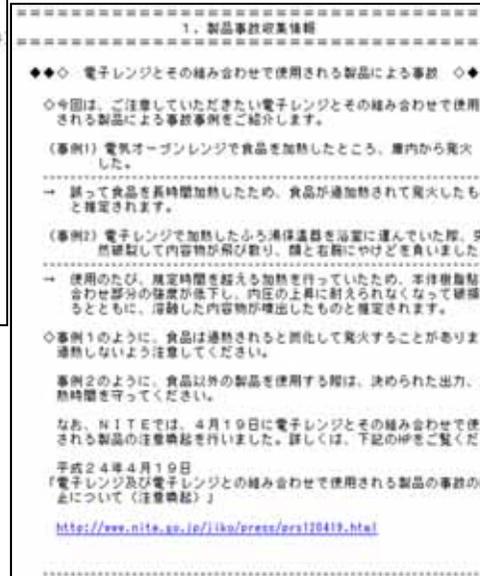
ホームページからダウンロード可能(希望に応じて冊子を郵送)  
消費生活センターから多数の冊子要望あり



# メールマガジン

## ◆メールマガジン(PSマガジン)による製品安全情報の提供

### 第2, 第4火曜日に登録者に配信



業界団体、病院、学校、消費者団体等へ登録依頼

# 記者説明会

## ◆記者説明会による注意喚起

### 毎月定期的に記者説明会を実施

平成23年度は、「災害復旧時の製品事故」の記事投げ込み、「扇風機」、「エアコン」、「カセットこんろ」など、誤使用・不注意による事故を中心に事故防止のための注意喚起を、11件実施。

より分かり易く注意喚起を行うため、事故の再現映像を提供。



火災事故再現映像



## 平成23年度報道実績



新聞による報道: 80回

全国紙報道: 31件



テレビ・ラジオによる報道: 167回

全国テレビ報道: 80件

# セミナー、講演

## ◆セミナー、講演による情報提供、製品安全啓発

全国の消費生活センター、消費者団体、消防機関等が主催するセミナーに延べ150人以上の講師を派遣。

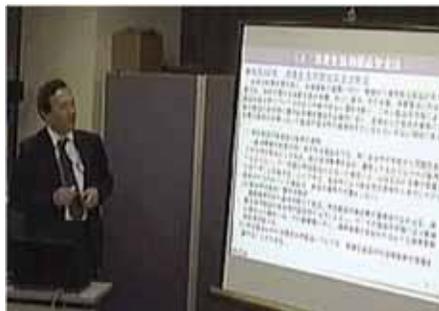


製品安全セミナー風景



経済省主催の「製品安全セミナー」(年20回)に、製品安全の情報提供と製品安全啓発を実施。

知の市場(お茶の水女子大学等全国23拠点連携機関)の平成23年度公開講座の概要



講義風景

科目	ST441	知の市場
科目名:製品安全概論-製品安全対策の基礎知識		
講義日時:9月18日~1月8日(全15回)毎週火曜日 18:30~20:30		
募集人数:80名(平成23年度実績80名)		
共催機関:製品評価技術基盤機構、主婦連合会、早稲田大学規範科学総合研究所		
【講義内容】 近年、消費者が使用する製品の安全性が大きくクローズアップされ、種々の製品事故が顕在化し、これを受けて、政府においても消費生活用製品安全法の2度にわたる改正を行う等、製品安全政策の見直しが行われている。本講座では、製品事故の現状と製品安全政策について具体的事例に基づき分析考察するとともに、今後の事故防止方策や政策のあり方について論じる。		

# 製品安全教育

- ◆ 小学校高学年向けの製品安全教育の教材を作成、配布。  
 全国の教育委員会を通じて、小学校8,500校以上に配布済。  
 要望が多く、引き続き増刷、配布中。

◆ 製品安全教育DVDハンドブック（小学校高学年向け）

● 小学校教職員の皆様へ ●

製品評価技術基盤機構（ナイト：NITE）で小学校高学年向けの製品安全教育の教材（DVD映像と解説書）を作成しました。NITEが収集した事故情報の中から家庭で起きた身近な製品事故を取り上げ、事故の内容と原因の解説、注意ポイントなど紹介し、児童と製品事故について話し合うためのヒントや実際に製品事故が発生した際の注意点を記述しました。

1テーマ数分程度のDVD映像を5テーマを収録し、各テーマごとに製品事故に至る過程、事故再現実験、注意事項という流れで構成しています。授業で使いやすいように1テーマごとに完結していますので、テーマを選んで使うこともできます。

・DVDをご希望の場合は、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。



「くらしの中の身近な製品事故 小学校高学年向け」は、(財)消費者教育支援センターの「第5回消費者教育教材資料表彰(行政)」で優秀賞を受賞しました。

○問い合わせ先  
 〒540-0008  
 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館別館  
 NITE製品安全調査課 教育DVDハンドブック係  
 TEL:06-6942-1113

事故 ナイト いいね

## ホームページでも視聴可能

ストーブの事故 電子レンジの事故 配線の事故 電池の事故

### こんろの事故

動画



あらまし

天ぷらを調理中に、目を離してしまい、においと煙が発生するところでした。

解説



天ぷら油は、強火で加熱後約5～10分程度で自然発火する温度(370℃以上)に達します。

現在は、天ぷら油の自動消火機能(調理油過熱防止装置)が付いており、なべの底の温度を測って、ある一定温度(250℃程度)になると消火したり火の大きさを小さくします。しかし、なべの底がひどく汚れていたりすると正しく測れない場合があります。また、油の量が少ない時、すぐに油の温度が上昇します。その温度上昇スピードにセンサーがついていけず、自然発火温度に達して発火することもありますので、天ぷら調理中は目を離さないようにしてください。

天ぷら油の自動消火機能については、2口こんろの片側にしか付いていなかったものが、2008年10月1日から全口に調理油過熱装置が義務化されました。しかし、規制以前の過熱防止装置が付いていないこんろも多く使われていますのでご注意ください。また、IHこんろでも同じように火災になった事例があります。

# (参考) 記者説明会、DBアクセスの状況

